

事業番号	10 05 08	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	野生鳥獣捕獲・管理事業			担当課	部局	林務部	
					課・局・室	森林づくり推進課鳥獣対策・ジビエ振興室	
					E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト			実施期間	H16 ~		
	施策の総合的展開	1-4 森林を生かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	4-3 信州創生を担う人材の確保・育成					
	施策展開	4-1(2) 信州に根付くつながりの継承 (イ) 住民主導による地域の活性化					

1 事業の概要

目指す姿	ニホンジカ、ツキノワグマ、ニホンザル等の野生鳥獣から農地や造林木を守るため、地域が実施する被害防除対策に加えて、有害鳥獣の捕獲対策を行い、農林業被害の軽減を図る。 達成目標：ニホンジカの生息頭数：105,000頭(H22) ⇒ 35,000頭(H27)										
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣による農林業被害はここ数年微減傾向であるが、依然として高い状況：農林業被害額10億7千万円(H26年度) 防除対策実施済み地域は被害が減少するものの、新たな地域で被害の発生が確認されており、増えすぎた野生鳥獣を捕獲する抜本的な対策が必要。 (平成26年度捕獲数：ニホンジカ 39,506頭、ニホンジカによる農林業被害の減少市町村の割合 60%：平成22年度を基準年とする。)										
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県が策定した特定計画に基づく捕獲・管理対策には、専門的知見に基づく県の関与・支援が必要(鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律)									
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)										
	<ul style="list-style-type: none"> 農林業被害の減少市町村の割合 80%：平成22年度(森林づくりアクションプラン策定年)を基準年とし、前年実績を参考に設定。 ニホンジカの捕獲頭数 40,000頭：農林業被害額の4割を占めるニホンジカを減少させるため、第二種特定鳥獣管理計画に基づき設定。 										
	② 事業内容 (単位：千円)										
	項目	実施方法	H28事業実績		H29						
			(当初)	(決算)	(当初)						
	ニホンジカ捕獲強化事業	委託 直接	ニホンジカの高密度地域及び分布拡大地域における集中的・効率的な捕獲を実施。	68,000	31,614	32,000					
	効率的捕獲方法実証事業	直接	県下3広域圏において、地域の特性に応じた加害鳥獣の捕獲を効率的に実施。	2,100	1,823	0					
	実施隊捕獲活動支援事業	補助金・ 交付金	鳥獣被害対策実施隊の活動等に対して支援。	30,691	11,576	29,493					
	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金・ 交付金	市町村が行うツキノワグマの放獣等に支援。	4,321	4,255	15,073					
	野生鳥獣捕獲管理対策事業	直接	捕獲管理対策調査用事務費	429	112	429					
	残渣処理支援事業	補助金・ 交付金	事業未実施	0							
			合計	105,541	49,380	76,995					
事業コスト	区分(単位：千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28	H29		
	当初予算	160,718	105,541	76,995			目標	成果	達成状況	目標	
	補正予算	-7,137	-52,022		農林業被害減少市町村の割合	60%	80%	80%	83%	達成	
	合計(A)	153,581	53,519	76,995	ニホンジカ捕獲頭数	39,506頭	31,885頭	40,000頭	25,733頭	未達成	
	一般財源	34,841	19,455								
	県債										
	国庫支出金	118,740	34,064								
	その他	0	0	76,995							
	決算額(B)	125,196	49,380								
概算職員数(人)	0.25	0.25	0.25								
概算人件費(C)	2,069	1,979	1,979								
概算事業費(B(A)+C)	127,265	51,359	78,974								

目標に対する成果の状況	各地域において地域の連携による被害対策を推進した結果、県内77市町村中64市町村で農林業被害が減少した。ニホンジカについては、捕獲圧の高まりとともに、シカの警戒心が強くなり行動が変化したため、捕獲数が減少した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 野生鳥獣被害の軽減に向け、行動変化したニホンジカの追跡調査結果を踏まえた捕獲等、引き続き必要な対策を講じる。ただし、複数の細事業に渡っていた補助事業を統合し一つの細事業に一本化することで、効率的な事業執行を図る。
--------------------	---